

7 芸術（美術）

学校番号

3002

平成29年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高校生の美術 I」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・「鑑賞」の分野について学習します。
- ・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術 I」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	身近なものを描く	【絵画】【鑑賞】 ・鉛筆の削り方から使い方を覚え基本的な形をとれるようにする。 ・紙コップのデッサン ・植物のスケッチ ・人物クロッキー ・合評	○	○	○	○	a:物の構造や形を理解しよく観察ができています。 b:形体を理解し構成が工夫出来る。 c:形や陰影を鉛筆を活かした表現をしている。 d:他の生徒の作品のよさや表現の工夫など感じ取り作品の理解を深める。	制作の様子 制作途中の作品 作品

	色彩表現	【デザイン】【絵画】 【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> ・色彩基礎 色の分類や視覚の仕組みの理解 ・色彩構成 色相、明度、彩度、の絵の具での塗り分けする。 ・絵の具を使った喜怒哀楽の抽象表現を描く。 	○		○	a: 形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b: 感情などの形のないものを色彩や形を使って構想を練れている。 c: アクリル絵の具の特性を活かして表現方法を工夫している。 d: 色の効果や仕組みを理解	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
2学期	記憶を形に	【絵画】 <ul style="list-style-type: none"> ・記憶の中のイメージから絵する。 	○	○		a: 日常に関心を持ち、イメージや形や色彩などを考えながら構想を練ったり表現しようとしている。 b: 感性や想像力を働かせて自己の内面から考えたことを形体、色彩、構成を工夫出来ている。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品

	オリジナルマーク制作	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <p>【デザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街の中のマーク鑑賞 ・アイデアスケッチ <p>自分の興味あることを文字から絵にしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配色を考え絵の具を使って表現する。 	○	○	○	○	<p>a: 自己の表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。</p> <p>d: 日常にあるマークやデザインの表現意図や効果などを読み取り理解している。</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
	動物の彫刻	<p>【絵画・彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の生態や特徴を調べ絵に表す。 ・彫刻版に写し立体的に彫刻し絵の具で着彩する。 ・相互鑑賞 	○	○	○	○	<p>a: 動物の特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞に主体的に取り組んでいる</p> <p>b 特徴の形や色彩など工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: 彫刻の特性を活かし立体的に表現を工夫出来ている。</p> <p>d よさや美しさ表現の工夫を感じ取り作品の理解を含めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>ワークシート</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞活動の様子や発言内容</p>

